

在宅医療支援システム研究会次第

日時 令和5年5月30（火）

18時30分～

場所 介護老人保健施設くろかみ 研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告、情報提供

① 岡山県医師会 移動会長室事業 講演会の案内(太田会長)

「自分のために、家族のために～将来の変化に備える～」

② 「訪問看護ステーションの機能強化に向けた事業連携検討委員会」について(訪問看護ステーションくろかみ)

③ 「おれんじ通信にいみ」の紹介(新見市介護保険課)

④ 令和5年度 医療・介護人材育成研修会、認知症研修会等予定について(まんさく)

⑤ 令和5年度第1回医療・介護 人材育成研修会の案内(まんさく)

4 協議事項

次回開催日

令和5年 月 日（ ）

自分のために、家族のために ～将来の変化に備える～

講演会

岡山県医師会 移動会長室事業

先着
50名

参加
無料

講演
1

演題「誰もがのぞむピンピンコロリ」
講師 岡山県医師会 会長 松山正春氏

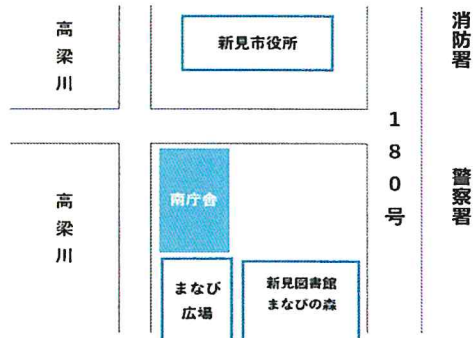
講演
2

演題「救急現場からwithコロナ時代のACPを考える」
講師 岡山大学病院 高度救命救急センター教授 中尾篤典氏

【開催日時】

令和5年6月29日(木)

14:00～16:00



会場:新見市役所南庁舎3階
(新見市新見310-3)

人生会議ってなあに？

ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは、将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、患者さんを主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、患者さんの意思決定を支援する過程のことです。

“もしも”に備えて話し合いをする機会を持ってみませんか。



 申し込み 新見市介護保険課 (☎0867-72-6209)

主催:岡山県医師会・新見医師会・新見市介護保険課

令和5年5月吉日

医療・介護関係事業所等 管理者 様

(新見市在宅医療・介護連携支援センター受託団体)
一般社団法人新見医師会 会長 太田隆正
(公印省略)

医療・介護従事者研修会の開催について (ご案内)

日頃より新見市在宅医療・介護連携支援センターの活動にご理解とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。令和5年度第1回人材育成研修会を下記により開催いたしますので、ご案内をさせていただきます。

私たち医療・介護従事者は高齢障害者の方たちに関わらせていただく上で、介護保険優先の原則から生まれる「65歳の壁」などにぶつかることがあります。そんな時は、新見市の福祉課、地域包括支援センターの皆さんや障害者支援事業所の方々に相談し、連携しながら支援されているのではないのでしょうか。今回、地域で障害者の支援をされている、「新見市障害者地域活動支援センターほほえみ広場にいみ」でご活躍をされている職員の方に障害者支援制度のことや高齢障害者の方の取り組み事例の紹介をしていただくことになりました。ご講演の後、困難事例についてグループワークも予定しておりますので、是非ご参加ください。

今回の研修も会場参加とZOOMによるリモート参加のハイブリッド方式での開催を予定しています。会場参加希望の方とZOOMでの参加希望の方は申込みの仕方が異なりますのでご注意ください。ZOOMでグループワークをするにあたり、原則、1IDにつき1人の参加(1台のパソコンにつき1人の参加)とさせていただきますのでご了承ください。

開催に際しましては、感染対策に努めさせていただきますのでご協力をよろしくお願い致します。多くの方のご参加をお待ち申し上げます。

なお、本研修会は岡山県介護支援専門員協会新見支部の皆様にご共催いただいております。

記

- 1 研修名：令和5年度 第1回人材育成研修会
- 2 日時：令和5年6月9日(金) 18:30～20:30
- 3 場所：①介護老人保健施設くろかみ 研修室 (講師、スタッフのみ)
②地域福祉センター 多目的ルーム(会場参加の方はこちらになります)
③ZOOM利用 (リモート参加)
- 4 内容：(1)障害者制度についての講義、取り組み紹介
(2)グループワーク

5 テーマ：「 医療・介護・障害者福祉の連携 」

- ・ 7040～統合失調症の引きこもりの事例
- ・ 医療依存度が高い障害者支援の事例(グループワーク)

6 講師：

新見市障害者地域活動支援センター ほほえみ広場にいみ

新見市福祉部福祉課 主任 吉田壮佑様(臨床心理士)

新見市福祉部福祉課 主事 宮地あゆみ様(精神保健福祉士)

7 対象：医療・介護関係者（実務に携わっておられる方以外でも参加できます。）

8 申し込み方法等：会場参加と ZOOM 参加では申し込み方が異なります。

参加会場は地域福祉センター多目的ルームです。

会場参加：メール又は F A X で、別紙申し込み用紙に記入してお送りください。

ZOOM での参加：必ずメールでお申し込みください。

お送りいただいたアドレスに返信します。

申し込み締切：令和5年5月31日(水)まで

9 その他

- ・ 会場内での飲食はご遠慮ください。
- ・ 会場では必ずマスクを着用してのご参加をお願い致します。
- ・ 当日体調不良の方は会場参加をお控えください。

新見市在宅医療・介護連携支援センター まんさく

電 話：0867-88-8270

F A X：0867-71-0309

メール：mansaku@kurokami.jp

※開催通知、申込用紙については、新見地域在宅医療支援システム研究会（旧新見医師会
在宅医療連携拠点まんさく）ホームページからもダウンロードしていただけます。

令和5年度研修計画表

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		6/9 障害者支援 (人材育成研 修会①)		未定 ACP フロセス・意 思決定支援 講演・取組紹介 (人材育成研 修会②)			11/30 市民のつどい ACP、DNAR (ネットワーク)		未定 糖尿病と歯科 (人材育成研 修会③)		
		6/29 ACP (県医師会 おで かけ教室)			9/28 フレイル (県医師会 おで かけ教室)					認知症研修会 ② 未定	
					認知症研修会 ① 市民のつどい						

(月)

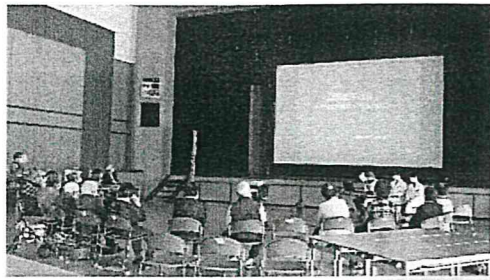
哲西

カフェきらめき特集!

にいみ
オレンジ
カフェ



今回はカフェきらめきを特集します。
きらめきは、NPOきらめきが地域の方々と協
力して、平成30年4月から開催しています。
このカフェは地域の方々が主体で運営して
いるところが特徴です。みんなでアイデアを
出し合い、参加者全員が
楽しく交流できる場所と
なっています。



大スクリーンで医師の講話



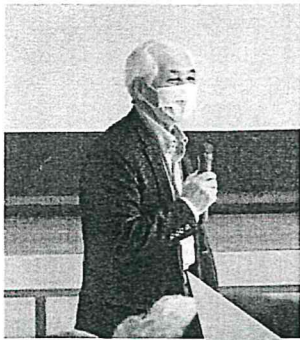
受付の様子



お茶会タイム



利用者同士の交流



名司会者



帰りには、お土産に
もらえます!

生け花



相談コーナー



みんなでワイワイ
たのし〜で



新見市内のオレンジカフェと行事予定

天候や、新型コロナウイルス感染症の状況等により、急遽中止・変更となる場合があります。
参加される際は、各カフェにお問合せください。

ほっとカフェ
ぼえむ

【開催予定】

日時：6月16日(金) 13:30~

会場：新見公民館

参加費：200円

【問い合わせ】グループホーム花みずき(高尾) ☎71-3030

毎月開催予定 詳しくは
問い合わせください

ピオーラ
カフェ

【開催日時】

日時：奇数月第4水曜 13:30~

会場：新見市地域福祉センター

参加費：200円

【問い合わせ】新見市社会福祉協議会(金谷) ☎72-7316

カフェ
きらめき

【開催日時】

日時：毎月第1水曜 13:30~

会場：きらめき広場哲西

参加費：200円

【問い合わせ】NPOきらめき広場(哲西町矢田) ☎88-8112

New!

認知症相談会

【開催日時】

日時：7月19日(水)、9月14日(木) 10:00~12:00

会場：市役所南庁舎

【要予約】⇒新見市役所 介護保険課 ☎72-6209
電話で事前に予約をお願いします。

New!

本人座談会

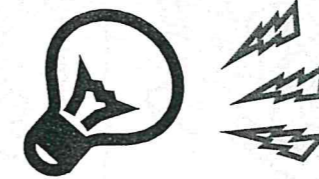
【開催日時】

日時：7月19日(水) 9月14日(木) 13:30~15:30

会場：市役所南庁舎

【要予約】⇒新見市役所 介護保険課 ☎72-6209
電話で事前に予約をお願いします。

豆知識



認知症は2025年には、65歳以上の5人に1人が発症すると言われていま
す。認知症は、高齢期にもっともかかりやすい病気の一つと言われていま
す。自分や家族が認知症だとわかったら、不安になるのは当然です。進行を遅
らせたり、症状を改善させたりするため、様々な治療や対処に取り組んでい
くことと合わせて、これからの人生に備える準備などをゆっくり進めましょ
う。

- 孤立しない生活を送る
家族・ご近所とよい関係をつくる
- 毎日決まったスケジュールで生活する
- 記憶を補う工夫をする
日記や手帳などに大切なことは書き留めておく
大切なものはいつも決まった場所に置く
- 必要な制度を知っておく

まずは相談してみましょ
う
かかりつけ医に相談して、専
門医を紹介してもらいましょ
う。



脳トレに
挑戦!

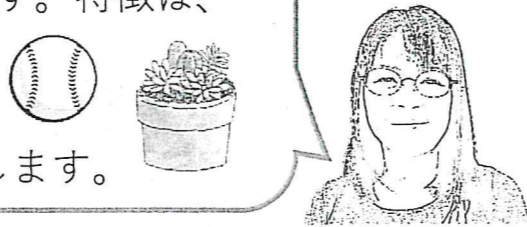
「かな知恵の輪」に 挑戦してみよう!!

ばらばらに重なったひらがなを正しく並べ替えて、
もともとどんな言葉だったかを答えてください。

1 あ	2 ど	3 た
4 は	5 お	6 は
7 か	8 こ	9 も

今年度から、「認知症地域支援推進員」として活動します、
新見市地域包括支援センターの安達です。趣味は、野球
観戦と多肉植物・観葉植物を育てることです。特徴は、
大きな声と読めない名前です。

あやえ
安達彩永です。どうぞよろしくお願ひします。



〒767-0001 新見市 新見市役所 地域包括支援センター ☎0867-72-6209

発行元 新見市 新見市役所 地域包括支援センター ☎0867-72-6209

おれんじ通信にいひ

Vol.6

R5.5月
発行



新型コロナウイルス感染症について 岡山県からのお願い
令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザと同じ5類感染症に変更されました。そのため、今までの基本的な感染防止策について、一律に対応を求めることはなくなり、個人や事業所の皆さまの自主的な判断により取り組んでいただくこととなります。
これまでと大きな変わりはありませんが、日ごろから健康的な日常生活を送り、あらかじめの備えをして、体調に異変を感じたら慌てず対応しましょう。

のぼりを作りました

この度認知症カフェを広くPRする目的で「にいみオレンジカフェ」ののぼりを作成しました。
オレンジカフェ＝認知症カフェと覚えてください。
カフェ開催日には、会場入り口に立ててあります。それぞれのカフェで、特色のあるデザインですので、ぜひチェックしてみてください。



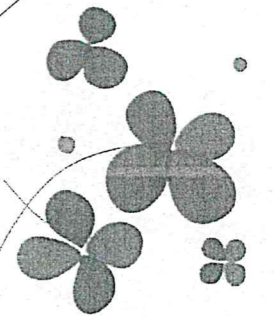
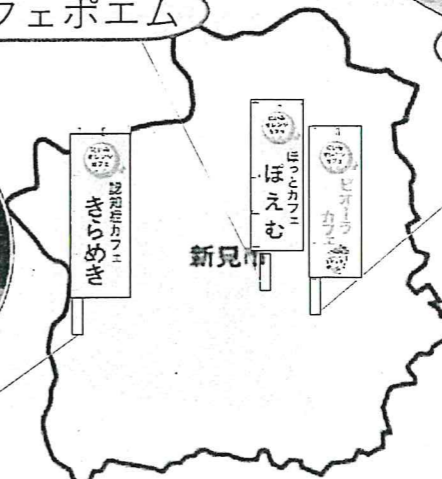
ほっとカフェポエム



ピオーラカフェ



カフェきらめき



第30回全国医師会共同利用施設総会 プログラム

メインテーマ「次世代に託す医師会共同利用施設の使命
～かかりつけ医機能支援と医療・保健・介護・福祉の充実～」

日 時：令和5年9月9日(土)、10日(日)
場 所：岡山コンベンションセンター他

第1日 令和5年9月9日(土) 於：3 F「コンベンションホール」

〔総会〕

13:00～

受付

総会司会：岡山県医師会

()

14:00～14:20

開会 岡山県医師会()

挨拶 日本医師会会長 松本吉郎

岡山県医師会会長 松山正春

来賓挨拶 岡山県知事

岡山市長

14:20～15:20

特別講演

座長：岡山県医師会()

演者：日本医師会会長 松本吉郎

令和4・5年度全国医師会共同利用施設

施設長検査健診管理者連絡協議会報告

15:20～15:30

<休憩・移動>

15:30～16:00

分科会

16:00～18:00

第1分科会(医師会病院関係) 於：3 F「コンベンションホール」

司会：岡山県医師会()

座長：鹿児島県医師会/日医師会共同利用施設検討委員会委員長 池田琢哉

シンポジウム 1. 能代山本医師会病院(秋田県)

2. 赤磐医師会病院(岡山県)

3. 熊本県医師会熊本地域医療センター(熊本県)

4. 川内市医師会立市民病院(鹿児島県)

質疑・応答

第2分科会(検査・健診センター関係) 於：1 F「イベントホール」

司会：岡山県医師会()

座長：日本医師会常任理事 黒瀬 巖

シンポジウム 1. 大宮医師会メデイカルセンター(埼玉県)

2. 富山市医師会健康管理センター(富山県)

3. 名古屋医師会同組名古屋臨床検査センター(愛知県)

4. 都城健康サービスセンター(宮崎県)

質疑・応答

第3分科会(介護保険関連施設関係) 於：2 F「レセプションホール」

司会：岡山県医師会()

座長：岩手県医師会/日医師会共同利用施設検討委員会副委員長 本間 博

シンポジウム 1. 岩手県医師会

2. 新潟県医師会

3. 奈良県医師会(奈良県)

4. 新見医師会(岡山県)

質疑・応答

18:30～20:00 <懇親会> 於：ホテルグランヴィア岡山 4 F「フェニックス」

※新型コロナウイルス感染症の感染状況等によっては中止または変更の場合あり

第2日 令和5年9月10日(日) 於：1 F「イベントホール」

9:00～ 受付(1日に受付をしていない方のみ)

総会司会：岡山県医師会

9:30～10:00 岡山県内共同利用施設紹介()

10:00～10:20 分科会報告 各分科会座長

10:20～11:00 全体討議

座長：日本医師会常任理事 黒瀬 巖

11:00～11:05 総括 日本医師会副会長 角田 徹

11:05～11:10 次期(令和7年度)担当県医師会長挨拶

群馬県医師会長 須藤英仁

11:10 閉会 岡山県医師会()

[施設見学に参加されない方]

11:10～12:10 昼食 於：2 F「レセプションホール」

[施設見学に参加される方]

11:10～12:00 昼食 於：1 F「イベントホール」

12:00 施設見学出発

・第1コース「赤磐医師会病院」

・第2コース「岡山市医師会総合メデイカルセンター」

※解散時刻はコースによって異なります。

【視点】

地方におけるコロナ禍後の地域医療構想と地域包括ケアシステムの取り組み

—新見地域の取り組みから—

岡山県医師会理事 太田隆正

地域医療構想のコロナ禍で各地域の会議も約2年中断断されておりましたが、本年度より再開予定です。その中で、地域包括ケアシステムの構築の取り組みはすでに行われ出しました。新型コロナウイルス感染症は本年5月より感染症上5類移行となりましたが、その動向は不明です。しかし、停滞していた地域包括ケアシステムの再開は、必須となっております。

新見地域の医療・介護の現状を国の地域医療構想から再検討、また、新見地域の取り組みできた地域包括ケアシステムを確認、コロナ禍後の対応を検討します。

本年4月に、テーマ「住民の健康な生活を守るために～将来も見据えた医療提供体制の構築にむけて～」で岡山県保健福祉部副安後昭保健医療統括官に講演いただきました。①人口減少、少子高齢化の中、医療費高騰削減②「治す医療」から「治し支える医療」へ③寝たきり予防・改善のためフレイル予防④栄養・運動・社会参加の地域包括ケア取組⑤病床機能報告制度⑥新見地区の人口減少と患者受診減少推進⑦職員（医師・看護師など）不足について⑧健全経営（職員待遇・利益確保）と患者ニーズにこたえることが趣旨でした。また、5月には備北保健所宮原所長よりWEB研修で「高梁新見地区医療構想策定支援のためのデータ提供」として地域データを提示され、各医療機関さらに必要なデータあれば要求、意見あれば言ってくれたいと講演されました。

コロナ以前より、地方ですすでに高度医療は3次医療機関紹介、病院ではマイナー職種は非常勤医師で対応となっています。病床削減に対しても各病院の独自々々の調整が進んでいます。病床削減については地域医療構想調性会議で以前より冬期の感染症のための病床受け入れ不能を懸念指摘してきました。その理由は新見地区の介護施設はほとんどが医療機関に属していないためです。このように地域の特殊事情の考慮も課題として、検討をお願いいたします。

新見市の地域包括ケアシステムの取り組みは県医師会報でも報告してきましたが県下でも1-2であると自負しています。今一度、経緯と現状をお話します。まず、医師会と行政との良好な関係がキーポイントです。

新見医師会の最大の事業が、介護保険制度が始まる前、新見市と連携した平成10年医師会立老人介護施設「くろかみ」の設立です。訪問看護ステーションと在宅介護支援センターの併設、現在でも地域の介護拠点として活動しています。同時に新見医師会・休日診療所も移転、現在にいたっています。

平成24年度厚生労働省モデル事業「在宅医療連携拠点事業」(全国105か所、岡山県1か所)で在宅医療連携拠点「まんさく」を新見医師会内開設、地域包括ケアの事業展開行

っています。平成26年には新見医師から新見市が事業主体に変更、新見医師会は市より受託を受け、在宅医療・介護連携支援センター「まんさく」として活動しています。

平成元年8月に第1回新見市在宅医療・介護連携推進協議会が再編、新見市・備北保健所・新見地域医療ネットワークメンバー・在宅医療介護連携拠点「まんさく」(以下まんさく)などが参加しています。

「まんさく」の事業は、「在宅医療連携ガイド」の管理、「新見市内事業所料金・加算一覽」管理、新見地域年間会議等一覽の作成・配布、新見版情報共有書更新アンケート調査、晴れやかネットワークキヤンペットの利用促進、人材育成研修会・多職種連携会議の開催、在宅医療・介護連携に関する相談支援など関与します。特に、多連携会議職種は、医師・看護師・介護職および行政が参加、地域の課題点、認知症、糖尿病などをテーマに講演後グループ討議を行っています。

新見地域医療ネットワークは、①医療・介護れんらく帳の活用促進②介護職員のための出前講座の開催③地方紙への医療・介護の専門職からのメッセージ掲載です。

国の重点施策に住民参加が謳われています。新見医師会は新見市と連携、平成27年より新見市健康づくり連絡会を開催、約40名の地域住民の方に参加いただき、①こども部会②おとな部会③高齢者部会に分かれ毎年テーマを決めて活動行っています。

平成15年より新見医師会新税会員の溝尾妙子先生が新見公立大学と連携、「ピオーネプロジェクト」として地域の課題点をテーマとして講演会、特に看護職・介護職を対象として研修会開催しています。本年の6月「看取り」をテーマに研修会予定されています。

新見公立大学からも市内医療機関学生実習、各種会議など連携は以前よりありましたが、公文裕巳学長が地域包括ケアの必要性を考慮、令和元年より3学部を改組して、1学部3学科(健康科学部・看護学科・地域福祉学科・健康保育学科)とされました。全国で初の訪問看護コースを開設されました。この地域で不十分な領域である小児医療・精神科医療・高齢者医療で講演会や研修会を開催、地域の専門職指導に貢献していただいています。

本年度は岡山県看護協会のモデル事業で令和5年度岡山県訪問看護総合支援事業が新見で行われることになり、5月に第一回検討委員会が開催されました。また、6月には岡山県地域包括ケア部会会議が、岡山県医師会移動会長室事業で「ACP」をテーマに開催予定です。このように、県レベルの取り組みも予定されていますが、地域での活動が重要であり、地域全体での取り組みが必要です。医師会と行政の連携が特に重要と考えます。

本年度、各地で順次地域医療構想調整会議も再開されますが、住民にも医療機関にも困らない、医療・介護の選択をお願い致します。